

グアテマラ経済（２００７年５月）

平成１９年６月
在グアテマラ日本国大使館

『５月の主な動き』

○シティグループ（米国）によるクスカトラングループ（エル・サルバドル）買収、HSBSグループ（英国）のグアテマラ進出など、中米域内およびグアテマラ国内における金融業界再編が続く。

○2006-7年期の砂糖の生産高が過去最大を記録する。

○SICA・CARICOM首脳会合で、SICA・CARICOM自由貿易協定交渉開始が合意。

１．主な経済指標

（１）為替レート（中銀）

５月、ケツアルの対ドル相場は１ドル＝Ｑ7.67－7.63のレンジで安定的に推移。

（２）消費者物価指数（国家統計院 INE）

５月の消費者物価指数は、前月比で 0.26%下落。前月比で下降に転じたのは、2006年 10月以来 7ヶ月ぶり。

（３）貿易統計（中銀）

４月の輸出は 5.33 億ドル（前年同月比 26.1%増）、輸入は 9.43 億ドル（前年同月比 13.5%増）。

本年 1月からの輸出総額は 22.4 億ドル、輸入総額は 41.1 億ドルであり、４月の時点で貿易収支は 18.6 億ドルの赤字。

（４）海外送金（中銀）

５月の海外送金は、前年同月（３億 6,139 万ドル）に比べ 3,155 万ドル（8.7%）多い 3 億 9,294 万ドル。

2. 国内経済トピックス

(1) デ・ボニージャ中銀総裁発言：第1四半期の経済

2007年第1四半期の輸出は前年同期比23.6%増を記録。中でも、米国向けの輸出の伸びが21.2%と著しく、中銀総裁はDR-CAFTA発効の経済効果であると発言(5月11日)。

外貨準備高もこの6年の最高額(42.5億ドル)に達しているなど、マクロ経済が健全であることをアピール。

(2) 国税庁(SAT)：徴税率の改善

国税庁(SAT)は、本年度4月までの税収が前年同期を17.2%上回り、4ヶ月間で税収目標の36.4%を達成したと発表(5月17日)。徴税済額は113億4376万ケツアル(約14億8000万米ドル)。

(3) HSBC：グアテマラ進出

昨年、中米最大の民間金融機関であったバニスモグループ(パナマ)を買収したHSBC(英国)が、グアテマラで銀行業免許の取得手続き中にあると発表。昨今の中米におけるHSBCの事業展開に鑑み、国内大手金融機関の買収の可能性も噂される。

(4) G&Tグループ：海外進出

昨年6月、エル・サルバドルのアメリカ銀行買収で注目されたG&Tグループ(グアテマラ)が、パナマ、およびニカラグアでの事業進出をめざし手続き中。G&Tグループは、国内第2位の金融機関でありながら、中米各国およびパナマに跨る国際的事業展開では筆頭にたつとされる。

(5) 砂糖の生産高過去最大

2006-7年期の砂糖の生産高は過去最大の2,130百トンを記録。来期はエタノール生産の可能性も念頭に起きつつ、さらなる生産拡大を図る予定。グアテマラでは、砂糖はコーヒーに次ぐ主要輸出品目であり、昨年度の輸出総額は約3億ドル。

（６） トウモロコシの価格上昇

2007 年第 1 四半期、国内市場における白トウモロコシの価格は 78%（180 ドル→320 ドル/トン）、黄トウモロコシは 50%（125 ドル→188 ドル/トン）上昇した。昨年 10 月以来、エタノール精製目的で需要が世界的に急騰したことを受け、トウモロコシの価格上昇が続いている。

3. 対外経済トピックス

（１） SICA・CARICOM 首脳会合

5 月 12 日、両地域首脳は、SICA・CARICOM 自由貿易協定交渉を開始することで合意。コスタリカ・CARICOM 間の FTA（2004 年締結）をモデルに交渉を進める見込み。

会期中、中米首脳は EU との連帯協定交渉について意見交換。交渉開始の条件ともされている中米域内の関税同盟については、合意形成に時間を要している模様。

（２） シティグループ：金融業界再編

シティグループ（米国）によるクスカトラングループ（エル・サルバドル）買収が完了。買収額 15 億 1000 万ドル。昨年のウノグループ（グアテマラ）買収に続き、シティグループの中米における多角的経営戦略の一画をなす。

（３） ポジョ・カンペロ：海外進出

5 月 24 日、グアテマラのファーストフードチェーン、ポジョ・カンペロが上海に中国における第 1 号店を開店。ジャカルタに続くアジア進出であり、今後 3 年間で中国国内に 80-100 店舗をフランチャイズ展開する予定。

ポジョ・カンペロは中米 5 カ国のほか、メキシコ、エクアドル、米国、スペインにも進出している。